

かがやき

令和4年 10月14日(金)
多摩市立連光寺小学校
特別支援教室 かがやき学級
学級通信 NO. 9

何かおいしいものを食べよう

「秋」が日々深まりを見せていきます。朝夕の気温もかなり低くなりました。夕方は日の入りが早く、夜の暗さが家の明かりの温かさを際立たせます。季節を元気に過ごしていくために大切なのはやはり「ごはん」でしょうか。食欲の秋ともなりますが、何かおいしいものを食べる。これに勝るものはないように思います。朝ごはん、給食、夕ご飯「いただきます！」で元気と健康につなげましょう。

「気持ち」や「感覚」を知っていく道のり。自分の「気持ち」や「感覚」を伝える道のり。

「めんどうくさい」「やりたくない」「つまらない」「ねころぶ」等々。学習活動や学校生活の中で気が乗らない内容や頑張ることが難しい場面。いろいろな言葉や行動が子供たちからは飛び出すことがあります。でも、後から言葉を補いながらゆっくり話を聞いていくと実は「つかれた」「ねむい」「お腹が減っていた」「休み時間にけんかした」「お家でいろいろあった」等、うすすらではあります。いろいろな理由が浮かび上がってくる場合があります。当然のことではあります。しかし、「気持ちの言葉と意味」「感覚の言葉と意味」についてまだまだ知らないことが多い子供たちです。かがやき教室では必要に応じて疲れた感覚や怒りの感覚、その他諸々の感覚やこれらを表す言葉についてそのつど指導をしています。自分の気持ちや感覚がごちゃごちゃになっているとき人は物事を否定的に捉えてしまったり衝動的な行動をとってしまったりすることがあります(大人も同じですね。)。ただ、自分の気持ちや感覚を整理するためのスキルをもっていることで他者に伝えたり、うたえたりすることができます。そして自分自身を知り、理解してもらえる機会が広がります。先日次のようなエピソードがありました。

A君が授業参加を渋る場面に出くわしたとき、最初は「たいくつなんだもん」という言葉が出てきました。そこでA君の様子や言葉を整理していくと「つかれた」という言葉が出てきました。「だとしたら、『つかれたので休みたいです。』の方が伝わるよ」と話をしました。自分の気持ちと感覚を言葉で整理した後、時間を決めて5分の休憩をとった後に授業にもどることができました。低学年から高学年までいろいろなケースがありますが、こうした自分の「気持ち」や「感覚」を知ること。向かい合うこと。いろいろな道のりを今歩いているところです。

いろいろな感覚を耕す運動遊び

指導の間で体幹運動やストレッチ、運動遊びをすることがあります。それぞれの動きの中には体の感覚を自分で意識していく要素がたくさん入っています。最近、「キャッチボール」をやることがあります。革のグローブや軟式ボールが初体験の子もいます。「投げる・取る」の動作だけでも体全体の動くイメージがくっついていないとなかなかうまくいきません。最初はおっかなびっくりゆっくり短い距離からボールのやり取りをしていきます。顔はボールを離す時まで投げる場所を見て。腕は肩・ひじ・手首・指先の順番で動かして。ボールを離すポイントは？。どのくらい強さで投げる？一つ一つの動きは自分の体がどう動いていくかイメージして動かしていくことから始まります。その間にいろんな刺激が体に入り、多くの感覚が耕されていきます。最初はたどたどしかった投げる動きが自分のイメージに近づいてくるとき、子供たちは本当に良い顔をしています。得意不得意もあるので無理無理にやったり強制したりすることはありませんが、いろんな「遊び」の中に体育や習い事以外に身につけていくことがたくさんあるので何かの機会に試してみると新しい「動き」が発見できるかもしれませんね。基本は「楽しく」。「遊びの秋」としてご家庭でも何か「遊び」にチャレンジしてみても面白いかもしれませんね。

お知らせ

・「個別指導計画」「生活支援シート」の確認ありがとうございました。

今年は「個別指導計画」は3回の評価、確認があります。

9～12月期(今回)。次回は1～3月期の確認になります。